

# 図書館だより 第4号

H. 2. 1. 10

神戸大学附属図書館医学部分館

## 年頭の挨拶

医学部分館長

明けましておめでとうございます。

いよいよ1990年代に入りました。去年は図書館（医学部分館）にとっていろいろなことがありました。すなわち夜間開館の実施、定員削減、改築へむけての検討小委員会の設置等です。夜間開館時間の延長は好評のようで、午後5時から午後9時までの間には毎日平均100名を優に越える利用者がいます。定員が1名減らされたことは残念でしたが、時代の要請とあれば止むを得ません。今後の効率的な運営を計ることが大切と思います。

これからの図書館にはいろいろな機能が要求されます。ことに医学部分館においては医学情報センターの機能を兼ねる、視聴覚教育センターとしての機能を持たせる、学習図書館としての機能を拡充する、重要資料の保存の展示など博物館的機能をも持たせる、などです。改築される医学部分館をどのようにinnovateするかは大きな問題です。改築問題検討小委員会はこのような問題を具体的に検討する為に生まれました。これからの利用者の声を集めて、より良い図書館の建設にむかって出発したいと思っています。

六甲台地区においては、教養部分館の改築を機にこれを総合図書館（インテリジェント・ライブラリー）として位置付け、新しい本館として的大幅な機構の改革が検討されています。1990年代が附属図書館にとっても大学全体にとっても飛躍の年であることを祈っています。

○

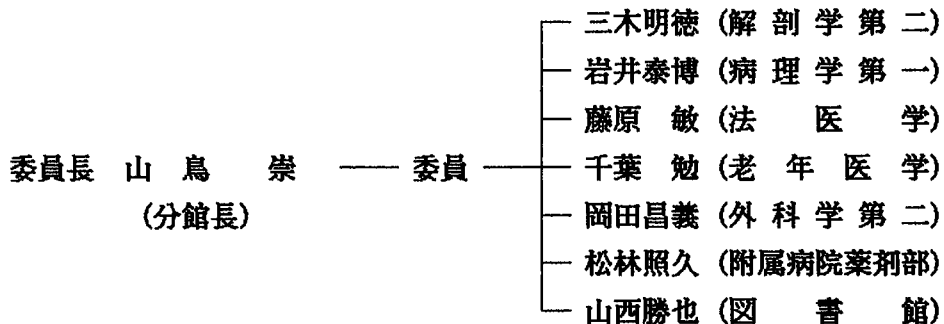
### 1. 夜間 (5:00~9:00PM) における月別1日平均利用者数の推移

平成元年度から夜間開館時間の再延長を実施しましたが、利用状況は次のとおりです。

平成元年4月	117.2人	9月	104.55人
5月	95.68	10月	121.76
6月	114.5	11月	105.05
7月	102.61	12月	125.72
8月	閉館		

## 2. 「図書館改築問題検討小委員会」発足

平成元年11月22日に開催されました平成元年度第2回医学部図書館運営委員会において、将来予想される医学部分館の改築に備えて「図書館改築問題検討小委員会」が設置され各系から下記のとおり7名の委員を選出して発足しました。

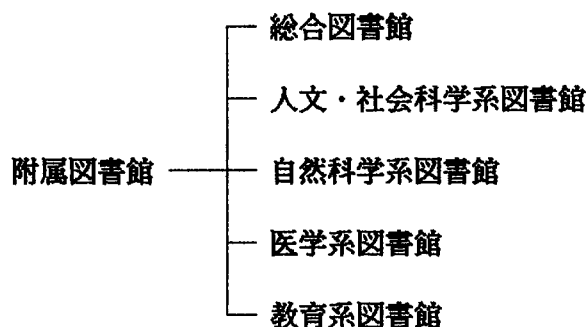


## 3. 附属図書館審議会小委員会が「インテリジェント・ライブラリー構想」について報告書を作成

平成元年末、附属図書館審議会小委員会は次の諸点の実現を目指し、図のような構成による図書館構想について報告書を作成し附属図書館審議会に提出しました。

- ① 教養部学生を中心とした学習図書館の実現と各構成図書館による機能分化
- ② 研究情報・学習情報の集中化
- ③ 全学連携による保存図書・貴重図書に係る保存機能の強化と、各種資料の収集と散逸防止機能の整備
- ④ 集約化、情報化による業務処理の効率化の追求
- ⑤ 研究・教育・学習のための快適環境の確保
- ⑥ その他、情報化、生涯学習社会への対応と参考調査業務等利用者サービスの向上のための組織、環境の整備

### 構 成 図



## 4. 「現行受入雑誌リスト1990年版」の配布

昭和63年度第3回図書館運営委員会において、各講座より現在図書館で受入れている逐次刊行物についてリスト配布の要望がありましたので、平成元年末「現行受入雑誌リスト1990年版」を作成して各講座当り1部ずつ配布しました。有効にご利用ください。